



滋賀国道事務所は2月5日、栗東市内において情報化（機械化）施工の現場見学会を開催しました。地方公共団体や事務所の担当者など25名が集まり、情報化（機械化）施工を取りまく状況の講義を受け、実際の施工を見学した後、課題についての意見を交わしました。

建設施工（機械化施工）を取りまく状況

① 少子高齢化による技術者（操縦者）不足

- 契約不調による公共サービスの低下
- 未習熟操縦者の施工による品質低下
- 3K（きつい、汚い、危険）→6K（給料が安い、休暇が少ない、かっこ悪い）



② 公共サービス水準の確保

- 適切な維持管理
- 施工における安全確保
- 環境への配慮
- 品質の均一化・品質確保
- 適切な工期確保

③ ICT技術の普及

- 高精度な計測データの普及
- 機械制御技術の高度化
- 通信網の拡大及び大容量化



情報化施工のイメージと電子データの流通



建設施工のイノベーションを実現する情報化施工

★ 掘削・敷均し機械の操作支援

★ 上空の衛星を用いた自動追尾測量

★ 盛土締固状況の品質管理の自動化

★ 出来上がった形の自動管理 など